

平成29年7月13日(木) 2校時
 指導者 教諭 岡村 眞理
 場所 1年1組教室

1 本研究授業の提案

場面の様子や登場人物の気持ちに気付いたり想像を広げたりし、考えを伝え合ったり話し合ったりすることでさらに考えを広げたり深めたりすることができる。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 分かりやすい発問や指示を行い、学習への見通しを持つことができるようにする。
- (2) 一人一人の実態を把握し、授業にせまるための見取りと意図的指名を行う。

3 単元名 かいがら

4 単元の目標

- 人物の行動や会話を中心に、場面の様子を想像しながら読むことができる。

5 指導計画 (本時 3 / 6時間)

時	主な言語活動	単元の評価規準
①	○学習の見通しを立て、物語の内容の大体を捉える。 ・登場人物がしたことやそのときの気持ちを考えながら物語を読むという学習課題を確かめる。 ・出てくる人物を確かめ、挿絵をもとに場面の順序を確かめる。	【関心・意欲・態度】 物語に興味を持ち、楽しんで読もうとしている。 【読むウ】 登場人物と内容の大体をとらえている。
②～④ 本時③	○場面ごとに、人物の行動を中心に、気持ちを想像しながら読む。 ・様子を表す言葉や会話から、気持ちを想像する。 ・自分だったらどんな気持ちになるか、似たような経験をしたことがあるかなどを話し合う。	【読むウ】 場面の様子を想像しながら音読したり、くまの子やうさぎの子の行動から気持ちを想像して書いたりしている。
⑤	○最後の場面の人物の気持ちを想像して、物語を読んだ感想を交流する。 ・最後に貝殻を耳に当てる二人の気持ちを考えて、人物になったつもりで会話する。 ・くまの子とうさぎの子に伝えたいことを発表する。	【読むウ】 くまの子やうさぎの子の気持ちを想像して音読している。 【読むオ】 自分の経験と結び付けたり自分だったらと考えたりして、登場人物に対して感じたことや思ったことを言葉にしている。
⑥	○教科書に紹介された本の中から好きな本を読んで、読み聞かせを聞いたり自分で読んだりする。 ・想像を広げて物語を楽しんで読むことができたか、振り返る。	【関心・意欲・態度】 好きな本を選んで、想像しながら楽しんで読もうとしている。

6 本時の展開

(1) ねらい

- 貝殻を持ち帰ったくまの子の行動を中心に、気持ちを想像しながら読む。

(2) 指導過程

	学習活動	指導事項・留意点・評価
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。 くまのこのきもちをかんがえよう。	・前時に想像した、うさぎの子と好きな貝殻が一緒だったと分かったときのくまの子の気持ちを確かめ、本時はくまの子が何を考えたかについて読み取っていくことを共通理解させる。
展開	2 第1場面を音読する。 教科書P100からP102までを読む。 ・一斉読み	

<p>3 くまの子が貝殻を持ち帰ったことについて考える。</p> <p>○「くまの子は、どうしようかとおもいました。そして、かいがらをそっとしまって、うちへかえりました。」くまのこは、どんなことを考えてそっとしまったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番好きな貝殻が同じだったから、あげられないと思った。 ・自分だったらあげたくない。 <p>4 くまの子が「いっしょうけんめいかんがえました」とは、何を考えたのか想像する。</p> <p>(1) 自分の考えを書く。</p> <p>◎「いっしょうけんめいかんがえました」とは、どんなことを考えたのでしょうか。くまの子が考えたことをワークシートに書きましょう。</p> <p>(2) ペア学習でお互いの考えを伝え合う。</p> <p>○隣同士で、書いたことを発表し合ひましょう。</p> <p>(3) 考えを発表し合う。</p> <p>○みんなで、考えたことを確かめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あげようかな、やっぱりやめようかな。 ・一番のお気に入りだからどうしよう。 ・仲良しの友達だから、あげよう。 <p>○友達の発表を聞いて、付け足したいことがあったら書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎの子が選んだ貝殻が自分の一番気に入っているものだったので、すぐにはあげることを決心できなかっただろうということを理解させる。 ・「くまのこは、どうしようかとおもいました。」から、迷いがあったことに着目させ、どのように迷っていたかを想像させる。 ・机間指導しながら、子供の考えを把握、評価する。 <p>評価 貝殻を持ち帰ったくまの子の気持ちを想像して書いている。 (ワークシート、発表)</p>
<p>まとめ 5 本時の読み取りを生かして、学習範囲を音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で読み取ったことが表れるように工夫して音読させる。

(3) 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ・あげようかな、あげないかな。 ・いちばんのおきにいりだからどうしよう。 ・うさぎちゃんもほしいだろうな。 ・うさぎちゃんはなかよしのもだから、すきなものをあげたい。 ・あげたら、きつとよろこぶだろうな。 	<p>いっしょうけんめいかんがえました。</p>	<p>そっとしまって ぼくとおなじだ。 あげられない。 あげたくない。</p>	<p>くまのこのきもちをかんがえよう。</p>
<p>挿 絵</p>			

(4) 本時の評価

<p>具体的評価規準</p>	<p>一生懸命考えているくまの子の気持ちを想像して書いている。</p>
<p>Aと判断する姿</p>	<p>うさぎの子との関係を考えながら、くまの子の気持ちを想像して書いている。</p>
<p>Cへの手立て</p>	<p>挿絵や本文を手がかりに、くまの子の気持ちを考えさせる。 友達の発表を聞いて、自分の考えを広げさせる。</p>